

文化・経済フォーラム滋賀



文化deけいざい 経済deぶんか ニュース&にゅーす第18号（2012年6月19日）

発行 滋賀県文化振興事業団内事務局（大津市京町3丁目4-22 旧滋賀会館内）

077(522)8369 fax 077(522)9647

eメール bunka-keizai@shiga-bunshin.or.jp

事務局 岸野 洋

文化deけいざい 経済deぶんか
ニュース&にゅーす 第18号

今日から6月滋賀県議会です。嘉田知事は、議会に対し、どんな提案をするのでしょうか。これを見て、各党の代表質問が22日（金）にあります。最大会派の自民党は1年生議員、山本進一氏が初質問です。一般質問は27日（水）から4日間の予定です。質問は一問一答形式か、一括答弁形式か、議員さんの選択性です。県のネットでライブ中継があります。いつも文化の質問、あまりありませんが、この議会では、美の滋賀に対する動き、それにスポーツで二巡目滋賀国体の開催判断など、様々に質問が出そうです。しっかり聞き耳を立てたいと思います。

文化・経済フォーラム滋賀の動向、皆様にお知らせします。毎月第2木曜、びわ湖ホールで開催する役員とスタッフ一緒に会議です。6月の会議は14日にありました。木村至宏代表幹事は、坂本の西教寺で明智光秀の命日法要があり、役員されているご関係で、そちらへ行かれ、代わって、中井保副代表幹事（琵琶湖汽船社長）が議長を務めました。

中井さんは最初の挨拶で、自らが滋賀経済同友会・地域活性化研究会の役員として勉強し、昨年度、県に提言した「文化」発信事業への取組みを話しました。中井さんが話した主な事業提案、以下に紹介しておきます。

国民文化祭の開催

びわ湖芸術祭（仮称）の開催

びわ湖エコ・アート・デザイン

センター（仮称）の創設

びわ湖情報局（仮称）の設置



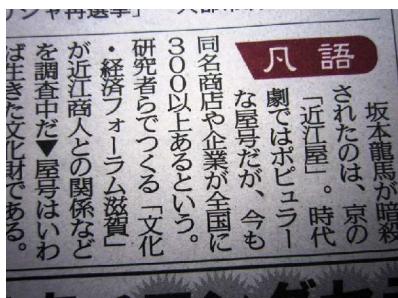
どれもこれも、実現すると、いいなあと思います。それこそ産官学民が一つになって、英知を結集して、でしょうか。文化・経済フォーラム滋賀はそういう機運を醸成していく下地づくりの役割があると思います。

この日の会議は、平成24年度事業の実施についてでした。かなり見えてきたのは、「文

化ビジネス塾」の展開です。塾長は井上建夫幹事（びわ湖ホール館長）と既に決まっています。スタッフは成安造形大の加藤賢治さん、石川亮さん、びわ湖ホールの浅野令子さん、有田淳さんですが、この日は石川さんが、どう運営していくか、具体案を披露しました。

文化ビジネスの定義づけですが、石川さんは今年2月の総会で発表した「提言」文にある～企業活動に文化が織り込まれ、その結果として文化の活性化につながるものを「文化ビジネス」と呼ぶことができるだろう。滋賀は新しい文化ビジネスの開発に格好の舞台である。～というくだりを引用しました。これを基に県内のこうした実例企業を選んで、会員の皆様らが現地で行って学ぶところから始めたいーと話しました。実例企業ですが、今年は近江八幡の「たねや」さんと、彦根市の「井上仏壇」さんです。すでに接触してもらっており、たねやさんは9月～10月、井上仏壇さんは10月～11月に訪問との内諾を得たとのことでした。参加者募集、詳細日程、スケジュールなどは、次回7月の会議で提案してもらうことになりました。「文化ビジネス」元年、一步前進です。

今年は9月ごろ、近江屋調査研究の延長線上で「近江屋シンポジウム」開催も予定していますが、このことが今朝19日付け京都新聞1面コラム「凡語」に載りました。この間



の会議では、担当してもらっている成安造形大の加藤さんが欠席でしたので、詳細は聞けませんでしたが、17日に加藤さんから～京都新聞論説委員から取材を受け、ざつと話しました～と連絡がありました。論説委員は彦根出身のKさんで、去年まで滋賀本社のデスク勤務し文化・経済フォーラム滋賀のことを知っていたようです。

記事は坂本龍馬暗殺の京都の「近江屋」から書き始めています。屋号は単なる記号じゃないと述べ、ネット上の住所を示すIPアドレスへ書き進んでいます。～アナログでもデジタルでも、人間と人間の関係を豊かにするネットワークを築きたいものだ～と結んでいますが、同フォーラムは今秋、全国の近江屋さんをシンポジウムに招くーとも書いてあります。このくだりは少しフライングでしょうか。近江屋の屋号の方の参加はあっても、全国の近江屋さんを招き～、とは行きません。でもまあ、こうした形で、文化・経済フォーラム滋賀が記事になるのは、嬉しいことです。

台風4号が近畿へ接近中です。滋賀会館3階の窓からみると、雨が激しくなっています。帰宅は電車が動いているうち、早め早めでしょうか。次回19号で、今日書けなかった国民文化祭徳島ツアーのこと、今年の「文化で滋賀を元気に！賞」募集のことなど、お知らせしたいと思います。（文責 岸野）